



陽気は幸せの種

No99

2015.5.15

●ホームページからも「陽気だより」
最新号・バックナンバーをご覧いただけます

<http://yotokusha.com/>

陽気だより

図書出版 養徳社 〒632-0016 天理市川原城町 388 TEL 0743 (62) 4503 / FAX 0743 (63) 8077

養徳社

検索

昭和40年1月号から

『陽気』は、昭和24年4月の創刊、今年で66年を迎えます。過去の記事から、その歩みの一端を振り返っていきます。

私のみた天理教

実行の宗教

— 聖典の教を実行に移して目に見せて教える天理教 —

澤田美喜

(昭和四十年当時 神奈川県 エリザベス・
サンタース・ホーム園長)

忘れられない修学旅行

真柱様から修学旅行に天理に来ては、とおっしゃっていただきましたとき、ほんとうに心から救われたような気がいたしました。

私ども、これだけの目立つ顔つきの子供をつれて外出するときの気遣いは、言葉に言い表せないものがあります。ちぢれた髪の毛、色の違った皮膚をもつ子供たち、終戦直後の日本人がこの子供たちに投げる視線はどのくらい激しく厳しいものであったでしょう。物心ついて、どんな小さなささやきにもその心を波立たせるころ、私どもは修学旅

行や遠足につれて行く場所や時間に、どんなに心をくだいたことでしょうか。

そして、日本の中でこの子供たちがのびのびと心の警戒を解く場はたった三つありました。

鳥取県の日本海に面した美しい海の夏期学校、岩手県小岩井農場と、そして今この天理が加えられたのでした。鳥取も小岩井も私の関係深い場所ですから心遣いを特にくれるのでしようが、天理に初めて二十人の子をつれて行った春の数日は、私どもにとつて忘れられない楽しい日々でした。

今でも、そのころの思い出



を語る子供たちの目は、そのときの楽しさを心から喜んでいる光できらきらしています。

天理の町であった人々の目は、いずれも優しいいたわりの目でした。初めて行く未知の町に小さな心をおのかせていたのでしようが、あの温かい心遣いが行く先ざき、町々の角々にありました。

私どもが第一に学びましたことは、尊い奉仕でした。あの御ちばの磨き込んだ回廊も御広間も、朝夕の奉仕の方々の手によって磨かれたのを見まして、何よりも尊いことを知りました。

奉仕とは、頼まれてするものではありません。だれでも

することのできることをすることでもありません。奉仕に喜びを感じるようにならなければなりません。あの御ちばを清められる朝夕の奉仕の方の顔は、喜びと満足に輝いていたことを忘れられませんが。

御ちばは至聖所^{しせいじよ}という感じをもたせます。最も聖いところというべきところ。その浄化されたものは、人の心の真の光りと私心なき奉仕から出る清らかさであります。天理教は実行の宗教であることを知りました。

奉仕に見る実行の姿

世界の宗教の数多い聖典に

作品
募集中

第5回公募 養徳社エッセイ賞

募集テーマ

「あの日あの時の味」

募集要項

枚数 A4判400字詰原稿用紙8～10枚
 締切 平成27年8月31日必着
 発表 本誌平成28年新年号
 入賞 1等 正賞/トロフィー 副賞/10万円(1名)
 佳作 正賞/トロフィー 副賞/3万円(2名)
 送り先 〒632-0016奈良県天理局私書箱15号
 養徳社エッセイ賞係
 問合せ 養徳社 TEL: 0743-62-4503
 FAX: 0743-63-8077
 ※詳細は月刊『陽気』6月号45頁をご覧ください。

は、それぞれ人の尽くすべき道徳が示されています。いずれも、その教え通りに実行すれば、この世の中に「悪」は消滅してしまおうでしょう。現世を極楽にすることも不可能なことではないと思います。しかし、この聖典にあるが如く実行されなかつたら、どこまでも平面的な、紙に印刷されているものという感を脱しないでしょう。

この聖典の教えを立体的なものにして、道を説く前に実行に移して、目で見せて教える宗教であるのが天理教だと感じさせられました。

御ちばのお清めの奉仕にしても、新しい御殿の建築上の工事の奉仕にしても、うらや

ましく思うばかりの滅私の奉仕の姿でした。私たちは、どんな尊い教えでも聖典でも、実行されたのを見て、初めて心がひかれるのです。そこが指導者の一番考えべきところではないでしょうか。

私は真柱様のお姿を、多くの奉仕者もつこをかついで正殿の建設に動いている中に見出したとき……しかも他の奉仕者のそれと同じく土にまみれた御様子を、初めはこの目をうたがったほどでした。教えを説く者は、いつも高いところから見下ろすように、憐れなる者を救ってやるという態度をまざまざと感じさせるような話しぶりをしたがるものです。

私ども、罪人であり救われたいと思っても、やはり教えを説く者は我々と同じレベルに、同じ土に足を置いて、私どもと共に悲しみ共に喜んでくれることのできる指導者を、私どもは心から求めているのではないのでしょうか。

真柱様に私どものように他の信仰をもつ者が親しみを感じる事ができたのは、教えの実行者でいられるからではないのでしょうか。

聖いもの、遠いものの感じは、たびたび人を遠く離してしまいます。これを身近に引き寄せるものは一段高いところからでなく、私どもの中にあって、共に生活の中に教えられ、また、その教えを行動の中に見せられることだとつくづく思いました。耳から入るより目で見る方が、私どもの心に深く長く刻まれるものがございます。

天理の教えが、また天理の御事業が、年とともに盛大に根深くなつて、多くの迷える人々が目を開かれ、心のよりどころを得て、他の人々の救いとなつてゆくことは、その原因がはっきりあることも知らされたのでした。

富士に上る道はいくつかあります。各自が自分の信念と体力とに合わせた登山道を選びます。数多くの違った宗教でも、選んだ道と信念が正しければ、必ず頂上に達するでしょう。救われた人々は、道は違つても頂上で一つに相まみえる喜びを与えられるでしょう。私は、いずれも正しい信念のもとに次の世で会える日を待ち望みたいと思います。

外から日本を見れば —天理青年世界一周—

フォトギャラリー WEBで公開中

■月刊『陽気』連載中の「外から日本を見れば」の執筆者西崎圭介氏のフォトギャラリーを開設しました。世界各地の様々な景色を随時アップしていきます。



<http://worldphoto.yotokusha.com/> 天理青年世界一周 検索

Facebook で最新情報をチェック!
<https://www.facebook.com/yotokusha>

この「陽気だより」を支部例会などの折、広く養徳社からのお知らせとしてご利用くださいますよう、お願い申し上げます。
 <書籍・陽気のご購入方法について>前払いをお願いしております。お近くのゆうちょ銀行に備え付けの振込用紙をお使い頂き、[住所、氏名、電話番号、書名(陽気希望月号)、冊数]を明記の上(振替口座番号00990-3-17694番 加入者名(株)養徳社)へご送金ください。手数料はお客様負担となります。ご入金を確認後、速やかに商品を発送させていただきます。ご不明な点は養徳社までお問い合わせ下さい。フリーダイヤル0120-920-398 養徳社 業務部